

故障かな？と思ったら

故障かな？と思われる時は、まず以下の内容をご確認いただき、処理を行ってください。
それでも改善しない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状・点検項目	考えられる原因	処理方法
電源が「ON」にならない	●電源アダプターのプラグが抜けていませんか？	▶電源(アダプター)プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	●コード部USB端子はしっかり差込まれていますか？	▶またはUSB端子を電源アダプターに確実に差し込んでください。
	●本体カバーは閉まっていますか？	▶本体カバーを開めてください。 カバー閉め方 →
	●フィルターはついてますか？また、正しく取り付けられていますか？	▶フィルターを正しく取り付けてください。 フィルタ取り付け方 →
風が出ない/ 風が出たり 出なかったりする	●機器の使用に適さない環境ではありませんか？	▶安全上のご注意、使用上のご注意をお読みいただき、機器の使用に適した環境でご使用いただいているかご確認ください。 安全上のご注意 →
	●本体の吸込口・吹出口、またはフィルターにホコリなどが付着し汚れていませんか？	▶お手入のしかたをお読みいただき、ホコリや汚れを取り除いてください。 お手入れの仕方 →
「キュルキュル」 という音がする	●本体の吸込口・吹出口、またはフィルターにホコリなどが付着し汚れていませんか？	▶お手入のしかたをお読みいただき、ホコリや汚れを取り除いてください。 お手入れの仕方 →
「シュー」という音がする	●機器の使用に適さない環境ではありませんか？	▶使用環境によっては、内部に水分や煙が付着すると音がする場合があります。湿度が高い季節や部屋では、一時的に音がする場合があります。その時は、時間が経つと音が静かになります。それでも改善されない場合は、設置場所(環境)を変えることをお奨めします。
	●本体の吸込口・吹出口、またはフィルターにホコリなどが付着し汚れていませんか？	▶お手入のしかたをお読みいただき、本体内側のお手入れを行ってください。 お手入れの仕方 →
本体を触ると「パチッ」と静電気を感じる	●本体の外表面や吸込口、吹出口にホコリなどは付着していませんか？	▶お手入のしかたをお読みいただき、本体の外表面や吸込口、吹出口のホコリや汚れを取り除いてください。 お手入れの仕方 →



症状・点検項目	考えられる原因	処理方法
においや煙がとれない	●周囲に障害物があるなど空気の循環が悪いところに設置していませんか？	▶本体の前後左右と上方は、壁・家具、カーテンなどから約10cm以上離してください。 設置について →
	●本体の吸込口・吹出口、またはフィルターにほこりなどが付着し汚れていませんか？	▶お手入のしかたをお読みいただき、ホコリや汚れを取り除いてください。 お手入れの仕方 →
オゾンの臭いが気になる	●機器の使用に適さない環境ではありませんか？	▶安全上のご注意、使用上のご注意をお読みいただき、機器の使用に適した環境でご使用いただいているかご確認ください。 安全上のご注意 → ▶使用環境によっては、内部に水分や煙が付着するとオゾンの臭いに変化する場合があります。 ▶お手入のしかたをお読みいただき、お掃除スリットから内側のお手入れを行ってください。週1回のお手入れをおすすめしております。 お手入れの仕方 →
こげ臭い においがする	—	▶ただちに電源(アダプター)プラグをコンセントから抜き、ご使用を中止し、お客様相談窓口へお問い合わせください。
電源コードや電源アダプターの一部が異常に熱い	●電源コードが断線している。	▶ただちにご使用を中止し、お客様相談窓口へお問い合わせください。
電源コードの一部が異常に変色している	●電源コードが断線しかけている。	

安全上のご注意 (必ずお守りください)






お使いになるご本人や周囲の人々への危害・物的損害を未然に防止するため、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

表示の分類














本書では、必ずお守りいただく事項を以下のように分類しています。

 警告	人が死亡したり重大な危害を受ける可能性がある内容を示します。	 注意	人が負傷したり、物が破損する可能性がある内容を示します。
--	--------------------------------	---	------------------------------







図記号の意味

	してはいけない内容を示します。		必ず実行しなければならない内容を示します。		水に濡れることを禁止する内容を示します。
	水をかけたり、水場での使用を禁止する内容を示します。		電源プラグをコンセントから抜くことを指示する内容を示します。		













警告

	分解・修理・改造をしない。火災・感電・けがの原因となります。修理はお客様相談窓口にご相談ください。
	同梱されている付属のアダプター・電源コードを使用する。指定の電源以外を使用すると、発熱・発火・故障・けがの原因になります。
	コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない。たこ足配線などで定格を超えると、異常発熱して発火する原因になります。
	電源アダプターや電源プラグが傷んだり、変色したり、コンセントの差込がゆるい時は使用しない。火災・発煙・感電・ショートの原因になります。
	交流 100V および USB3.0 を使用する。(日本国内専用) 船舶、自動車の直流電源や 200V 電源で使用しない。火災・発煙・感電・ショートの原因になります。
	子供や機器操作ができない方だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところで使用しない。やけど・感電・けがの原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損させること、また加工したり、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねるなどのことはしない。高温部に近づけたり、重い物を載せたり、挟み込んだりしない。電源コードが破損し、火災・発煙・やけど・感電・ショートの原因になります。
	使用後は必ず電源(アダプター)プラグをコンセントから抜く。けが・やけど・火災・発煙・感電・ショートの原因になります。
	濡れた手で電源アダプター・電源プラグ・USB 端子・DC プラグを抜き差ししない。感電・ショート・けがの原因になります。
	本体を水につけたり、水をかけたり、水洗いしない。また濡れた手で使用しない。製品内に水が入った場合は、直ちに使用を中止すること。感電・ショートの原因になります。
	浴室内・湿気が多い場所・水のかかりやすいところで使用・保管しない。絶縁劣化により火災・発煙・感電・ショートの原因になります。
	換気のできない場所では使用しない。換気扇としては使用できません。また密閉された空間ではオゾン濃度が高くなる場合があります。
	部屋の広さを確認して設置をする。適応空間以下で長時間の連続使用をしないでください。(本製品適応空間：6～10畳) 使用する場合は必ず換気をしながら、短時間の使用としてください。誤った空間で使用すると、人体やペットへの危害、財産などへ損害を与える可能性があります。

警告

	本体の全周にある吸込口・吹出口に指を入れたり、ふさいだり、異物を入れない。火災・発煙・やけど・感電・ショートの原因になります。
	引火性のもの(ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコール・スプレーなど)の近くで使用しない。爆発・火災の原因になります。
	本体を掃除する際は電源(アダプター)プラグをコンセントから抜き、必ず DC プラグを本体から抜いて行う。感電・けがをする原因になります。
	ペット等がいる環境ではその様子に注意をする。ペットの健康状態に異常がみられた場合は、使用を中止してください。
	電磁波を発生する機器の近くでは使用しない。故障・動作異常の原因になります。
	こげ臭いにおいがしたときは、ただちに電源(アダプター)プラグをコンセントから抜き使用を中止し、お客様相談窓口にお問い合わせください。

注意

	電源(アダプター)プラグをコンセントから抜くときは、コードを持たずに必ずアダプター本体を持って引き抜く。感電・ショートして発火するおそれがあります。
	本体にセットしているフィルターを外して使用しない。感電・火災の原因になります。
	本体の吸込口・吹出口をふさいだり、異物を入れない。火災・発煙・やけど・感電・ショートの原因になります。
	燃えやすいもの(カーテンや布団など)の近くで使用しない。火災の原因になります。
	本体の上に物を載せない。また、ペットが上に乗ったり尿をかけたらないような場所で使用する。故障の原因になります。
	本体にお茶や水などをこぼさない。故障、過熱・感電の原因になります。
	不安定な場所には置かない。転倒すると、故障したり、けがや感電の原因になります。
	ベンジン、シンナーで拭いたり、殺虫剤などをかけたりしない。ひび割れや感電、引火の原因になります。
	本体に衣類やタオルなどを掛けて使用しない。感電・火災の原因になります。
	移動の際は電源(アダプター)プラグを抜き、本体を上からではなく両手で側面を持って移動する。本体カバーと本体が分離し、本体が落ちて壊れる可能性があります。
	錆びやすいもの・貴金属・ゴム・革製品の近くでは使用しない。錆の発生や劣化・変質することがあります。
	寒暖差の大きい場所、極端に暑い(熱い)場所・寒い(冷たい)場所では使用しない。結露による故障、火災・発煙・感電・ショートの原因になります。

- 地震・火災などの緊急時には、ただちに電源(アダプター)プラグを抜き、使用を中止してください。
- 本製品は、日本国内でのご使用に限ります。
- 本製品の中に水が入ってしまった場合は、ただちに使用を中止し、お客様相談窓口にお問い合わせください。

お手入れのしかた

⚠ 注意

- 電源(アダプター)プラグをコンセントから抜き、機器が停止していることを確認する。

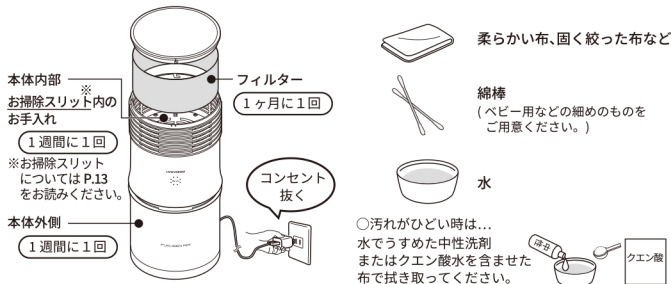
お手入れをせずに使用を続けると、汚れやほこりなどがたまり、「シュー」や「キュルキュル」などの音がしたり、本機の性能を充分に発揮できなくなる可能性があります。
定期的にお手入れをすることをおすすめします。

ご注意) 定期的なお手入れが行われない場合、汚れなどによる故障発生時に、製品保証対象外になる場合があります。

●ベンジン・シンナー・ガソリン・アルコール・クレンザーなどは絶対に使用しないでください。

●お手入れ箇所

●用意するもの

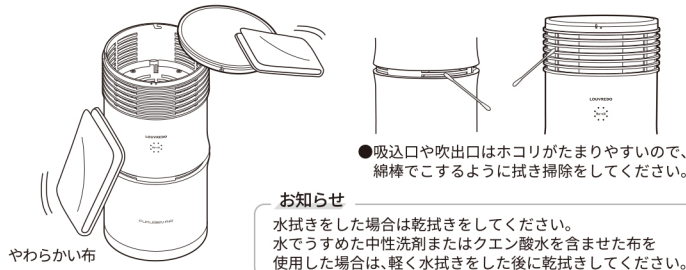


本体外側のお手入れのしかた 1週間に1回を推奨

⚠ 警告

- 本体を水につけたり、水をかけたり、水洗いしない。製品内に水が入った場合は、直ちに使用を中止すること。*感電・ショートの原因になります。

1 電源(アダプター)プラグをコンセントから抜き、機器が停止していることを確認し、傷がつきにくい柔らかい布や強く搾った布、綿棒などでやさしく拭いてください。



フィルターのお手入れのしかた 1ヶ月に1回以上を推奨

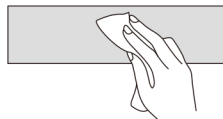
⚠ 警告

- フィルターを水につけたり、水洗いしない。本体内に水が入る可能性があります。製品内に水が入った場合は、直ちに使用を中止すること。*感電・ショートの原因になります。

1 電源(アダプター)プラグをコンセントから抜き、機器が停止していることを確認し、本体カバーを外し、フィルターを取り外してください。

フィルターの外し方 →

2 フィルターのほこりをやわらかい布で拭き取ってください。または、掃除機のブラシで吸い取ります。



お知らせ

水洗い 厳禁!!



本体内部のお手入れのしかた

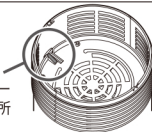
⚠ 警告

- 本体を水につけたり、水をかけたり、水洗いしない。製品内に水が入った場合は、直ちに使用を中止すること。*感電・ショートの原因になります。

△ご注意ください

●お手入れの時に安全スイッチレバー(右のイラスト参照)に布・綿棒・掃除機のノズル、また指や物を引っかけて、変形させないようにご注意ください。

安全スイッチレバー 設置場所

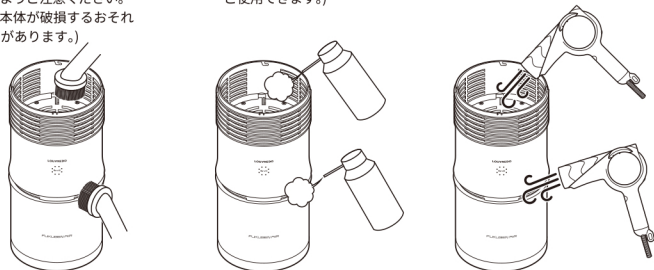


〈吸込口・吹出口のお手入れ①〉 1ヶ月に1回以上を推奨

1 電源(アダプター)プラグをコンセントから抜き、機器が停止していることを確認し、本体カバーを外し、フィルターを取り外してください。

2 吸込口・吹出口のホコリのお掃除は、掃除機、エアスプレー(ノンシリコン・不燃性)、冷風ドライヤーなどでホコリを飛ばすように除去してください。

- 掃除機の場合 (※掃除機を押し付けないようご注意ください。本体が破損するおそれがあります。)
- エアスプレーの場合 (※ノンシリコン・不燃性のみご使用できます。)
- ドライヤー(冷風)の場合



お手入れのしかた (つづき)



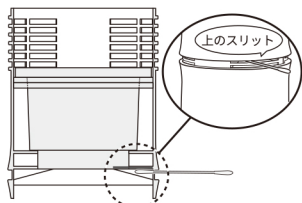
警告

- 本体を水につけたり、水をかけたり、水洗いしない。
- 製品内に水が入った場合は、直ちに使用を中止すること。
- *感電・ショートの原因になります。

〈吸込口・吹出口のお手入れ②〉 1ヶ月に1回以上を推奨

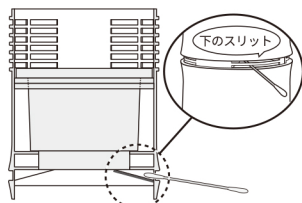
- 1 電源(アダプター)プラグをコンセントから抜き、機器が停止していることを確認し、本体カバーを外し、フィルターを取り外してください。
- 2 吹出口の上下スリットに綿棒を突っ込み、内側についたホコリや汚れを取り除いてください。ホコリや汚れが特にたまりやすいので、きれいに取り除いてください。

〈上スリット挿入時のお手入れ〉



○復元エアー(上部)断面イメージ図

〈下スリット挿入時のお手入れ〉



○復元エアー(上部)断面イメージ図

お知らせ

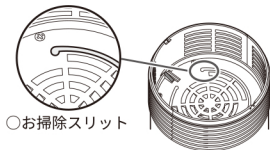
吹出口の隙間に綿棒が入らない場合は、綿の部分が細い綿棒をご使用ください。無理に押し込むと、機器の破損や綿棒の綿が機器内部で外れるおそれがあります。

- 3 綿棒に水をつけてお手入れをした場合は、必ず乾いた綿棒で乾拭きをしてください。乾拭きが十分ではない場合、異音や動作不具合の原因となります。

本体内側のお手入れのしかた(お掃除スリット) 1週間に1回を推奨

〈お掃除スリットについて〉

本体カバーを外した本体内部の吸込口に右図のような「お掃除スリット」を搭載しています。丸い形状の部分に、綿棒の綿の部分差し込んで機器内部のお掃除をすることができます。

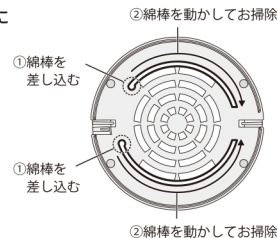
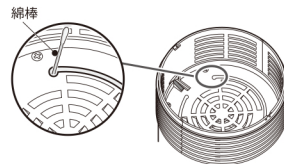


○お掃除スリット

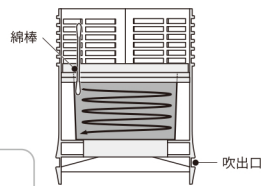
〈お掃除スリット内のお手入れ〉

- 1 電源(アダプター)プラグをコンセントから抜き、機器が停止していることを確認し、本体カバーを外し、フィルターを取り外してください。

- 2 本体内部のお掃除スリットの丸い形状の部分に綿棒の綿の先端部を差し込みます。



- 3 機器内部はカップのような形となっているため、カップの内側の側面についたホコリや汚れを綿棒で優しく取り除きます。お掃除スリットが入っていないところは、綿棒を斜めにしたりしてホコリや汚れを取り除いてください。

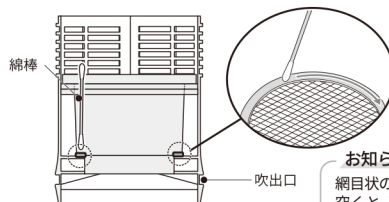


○復元エアー(上部)断面イメージ図

お知らせ

綿棒の先に水またはクエン酸水をつけると、汚れが取れやすくなります。
※綿棒の綿の部分が湿る程度に濡らし、水滴が機器内部に落ちないように注意してお手入れしてください。
機器内部に水滴が落ちると、機器の故障の原因となります。

- 4 カップの底(フチ)についたホコリや汚れも綿棒で取り除いてください。ホコリや汚れが特にたまりやすいので、きれいに取り除いてください。



○復元エアー(上部)断面イメージ図

お知らせ

網目状のフィルター(ハニカムセラミックス)を突くと、破損するおそれがあるのでご注意ください。

- 5 綿棒に水をつけてお手入れをした場合は、必ず乾いた綿棒で乾拭きをしてください。乾拭きが十分ではない場合、異音や動作不具合の原因となります。

ご使用前の準備



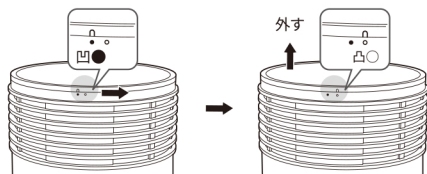
注意

- 電源(アダプター)プラグをコンセントから抜き、機器が停止していることを確認する。

フィルターの設定のしかた

1 本体のカバーを外します。

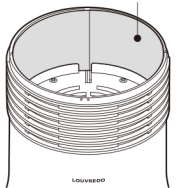
- 本体カバーを反時計回りに回転させて、カバーの嵌合マークと本体の凸○マークを合わせると外れます。



2 フィルターがセットされているか確認してください。

- 出荷時にフィルターは本体にセットされています。万が一正しくセットされていない場合はセットし直してください。

フィルター



安全設計 フィルターが正しくセットされていないと電源が入らない設計になっています。

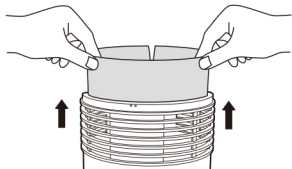
■ フィルターの設定のしかた

お知らせ

- フィルターは外すと右のような1枚のシート状になります。

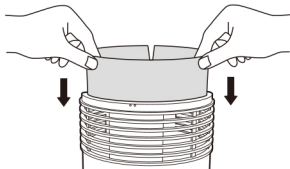
〈外す時〉

- フィルターは指で引き出すと抜けます。



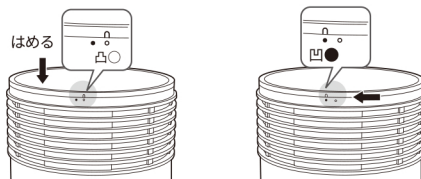
〈取り付ける時〉

- 装着する際は、フィルターが円形になるようお持ちいただき、本体内側の形に沿わせて、底部まで確実に装着してください。



3 本体のカバーを閉めます。

- 本体カバーの嵌合マークと本体の凸○マークを合わせ、時計回りに凹●まで回すと本体カバーが閉まります。



設置について

- 水平な場所に設置してください。
- 空気の循環を良くするために、本体の周辺には物を置かず、10cm以上のスペースが確保できるように設置してください。

